

間近で見ると驚くほどの透明度(イル・デ・パンのノカンウイ島)



どこまでも続くウベア島のホワイトサンドビーチ



心に響く 青のグラデーション



2008年7月、カナダのケベックで開催されたユネスコの会議で、ニューカレドニアの環礁(ラグーン)がユネスコ世界遺産に加えられた。世界遺産は文化遺産と自然遺産、複合遺産の3種類に分類されるが、ニューカレドニアのラグーンは自然遺産として登録された。このラグーンは、オーストラリアのグレートバリアリーフに次ぐ世界で2番目に大きな珊瑚礁、約1800kmの長さから構成され、全体の2万3000㎡のうち、1万5000㎡がユネスコに承認された。さまざまな年代の珊瑚礁の積み重なりによって成り立ち、自然の歴史を知るうえで貴重な情報源となっているところが高く評価されたのだ。多種多様な生物に囲まれた環境が完全な生態系をもたらし、また絶滅危惧種の魚類や亀、ほ乳類の生息地も点在している。ジュゴンの生息地としては世界で3番目に大きい地域も含まれている。

フランスにおいては33番目の世界遺産となり、自然遺産としてはコルシカ島のポルト湾について2番目となる。

今回の世界遺産登録対象地域は、本島から300km北に位置するウオン島とシュルブリーズ島を含むアントルカストー地域の珊瑚礁、ベレップ諸島などグランドテール島北部周辺の珊瑚礁、ポワンディエとヤンゲン周辺海域を含むグランドテール島北東海岸周辺の珊瑚礁、ウベア島とポートン・ボープレ周辺の珊瑚礁、ブーライユ周辺のグランドテール島西海岸の珊瑚礁、そしてイル・デ・パン周辺のグランドテール島南端周辺の珊瑚礁の6つの環礁(ラグーン)だ。観光地として人気が高いイル・デ・パンやウベア島は、両島を囲むラグーンが世界遺産に登録されたことになり、観光客の注目度は以前にもましてアップしている。

天国に一番近い無人島といっても過言ではない
(イル・デ・パンのノカンウイ島)

「ニューカレドニア
第2の町、ブルーライユ」

グランドテール島の北部州に属し、西海岸にある。ヌメアからは日帰りが可能で、オプションツアー（→P.75）が催行されている。本島からボートで15分の所にあるグリーン島は、世界でも有数のスノーケリングポイントで、魚や珊瑚の種類も豊富。ダイバーやサーファーにも人気のエリアだ。

DATA
★アクセス/ヌメアから車で2~3時間
★宿/ホテル・ラ・ネラほか



世界遺産ツアーで訪れるグリーン島

Bourail

野性的な奇岩が多いヤングンエリア

Hienghene

「秘境と呼ぶに
ふさわしい地、ヤングン」

グランドテール島の北部州に属し、東海岸の観光拠点となるのがヤングンだ。手つかずの山や海が残る素朴なエリアで、ニワトリの形に見えるチキンロックや、人の形に見えるリンデラリックの岩など、奇怪な岩が多いのが特徴。西海岸とはまったく違った景色が広がっている。

DATA
★アクセス/マジェンタ空港からツボ空港まで約1時間30分、ツボ空港から車でヤングンへは約1時間。ヌメアから車の場合、5~6時間
★宿/クルヌエ・ピラージュほか



Voyage

Ile Des Pins

「観光客に一番人気の
離島、イル・デ・パン」

フランス語で松の島という意味をもつIle (島) Des (の) Pins (松) は、観光客の多くが訪れる島だ。天然プールのピッシンヌ・ナチュレルや、カヌメラ湾などでスノーケリングを楽しむ人が多いが、はずせないのはノカンウイ島クルーズ。ラグーンの中にポツンと現れる真っ白いビーチは圧巻。

DATA
★アクセス/マジェンタ空港から国内線で約30分。フェリーの場合はヌメアの港からクト港まで約2時間15分（船によって異なる）
★宿/ル・メリディアン・イル・デ・パン、ホテル・ク・ブニー、ホテル・コジュー、ウラ・テラ・ビーチ・リゾートほか



パオ村からの眺め

ビーチ沿いのレストランが人気。田ホテル・パラディ・ド・ウベア

Iles Belep

「手つかずの自然が残る
ベレップ諸島」

グランドテール島の北西に位置するベレップ諸島は、アート島にワラ空港がある。アート島は唯一住人が定住している島で、人口は900人ほど。郵便局、診療所、教会、スーパーがあるだけの小さな島だ。

DATA
★アクセス/マジェンタ空港からクマック空港まで約1時間20分、クマック空港からワラ空港まで約35分
★宿/なし



グランドテール島北部州の環礁

Atolls d'Entrecasteaux

「本島北部から300km北上した
エリア、アントルカストー地域」

グランドテール島の北端から300km北上した海域にある。島はすべて無人島で未開の地だ。珊瑚礁は自然のまま残っていて、たまに関係者が調査目的で立ち入るだけ。観光でこの島に訪れるのは難しい。

DATA
★アクセス/海洋調査船などが立ち入ることはあるものの、一般的にはアクセスは難しい
★宿/無人島のため宿はない

I.Ouvea

「天国に一番近い島、
ウベア島」

国内線で約40分、機内の窓からは、半月形の島がはっきりと見え、珊瑚礁のグラデーションが眼下に見下ろせる。この光景だけでも来てよかったと思う瞬間だ。世界遺産に認定されている西海岸のラグーンには無人島が点在し、オプションツアーで訪れることもできる。

DATA
★アクセス/マジェンタ空港から国内線で約40分
★宿/ホテル・パラディ・ド・ウベア、ポブレ、ココティエほか

